

平和・くらし風土記

48

「論語とそろばん」 渋沢栄一

幕末の幕臣で明治～大正期の大蔵官僚、そして実業家だった渋沢栄一は、第一国立銀行、王子製紙・日本郵便・東京証券取引所などの多種多様な企業の設立・経営に関わり、日本資本主義の父とも言われています。その渋沢は江東区とのゆかりも深く、またある意味で「ルールある資本主義」を夢みしたことも注目されます。彼は経営理念を自著「論語とそろばん」で、「経済を発展させ国全体を豊かにするためには、利益を独占するのではなく富は全体で共有するものとして社会に還元する」とし自らも心がけました。



渋沢は1876年(明治9年)、36歳のとき深川福住町(現・永代2-37、現在も巨大な渋沢倉庫在り)に転居し、12年間深川区に居住、また49歳のとき深川区議会議員に当選、初代議長となり15年間勤めました。その間、経済人の立場から防火ポンプ、学校、水道、道路橋梁など深川区の公共に努力。

1916年(大正5年)6月25日、深川猿江小学校で行われた友愛会江東支部連合講演会に参加し演説をしています。それは第一次世界大戦後1917年のロシア革命、ヨーロッパの労働運動の発展、国際労働機関(ILO)の設立など国際的に労働問題が注目を集め、日本では世界大戦後の不況で労働争議が頻発、労働問題はそれまでの温情主義では対応できず、新たな労使観として協調主義がさかんに主張され、1919年に労働問題を専門に扱う協調会(官民一致の民間機関)が設立される時期でした。

渋沢は労働組合の必要性を認め、これを穏健に育成しようとした。また労使双方に「事業の利害損失は両者に共通」なのだから「相互に同情を持って」と主張しました。それは弱点はあるものの、当時の経営者の多くが労働組合の存続そのものを否定していた時期で先進的でした。

78歳の渋沢は寺内総理大臣を官邸に訪問し、「シベリア出兵反対」の意見を述べています。それは「出兵は財界に悪影響を与え不況沈滞となる、もっと外交的解決を」が理由でした。

《前号訂正》 「竹橋事件=日本で最初の兵士の反乱」で、「竹橋事件処刑場跡」として江東区文化財の史跡に登録した越中島3丁目7番地を越中島2丁目付近と訂正します。

NPT再検討会議に呼応して



志位委員長を団長とする日本共産党訪米団は、核保有国の核兵器廃絶への約束などの実行的措置と国際交渉の開始を求め、国連軍縮担当上級代表はじめ各国政府関係者や反核NGO代表・米國務省日本部長らと精力的に会談・交流を重ねました。この間の江東区内の一連のとり組みを紹介いたします。

核兵器のない世界を」 国際署名活動

4月25日、亀戸駅前で江東革新懇の旗や核廃絶を呼びかける横断幕を掲げた、6団体48人が参加する国際署名行動が行なわれました。

日本代表団の一員としてニューヨークに出発するきかんし労働組の青年が、ハンドマイクで署名への協力を訴えるなか、亀戸天神の藤まつりにでかける団体や高校生、チンドン屋さんなどが応じ、2時間で140筆の署名が寄せられました。

被爆者は平和の生証人 江友会総会

4月29日、総合市民センターで2010年度「江友会総会」が開かれ37人が参加。あの日からすでに65年、被爆による病と闘いながら「核兵器廃絶」と「被爆者援護法」制定と適用の拡大の運動を進めてきた同会の活動が報告されました。

松本軍司会長・来賓挨拶、中島事務局長報告のあと、被爆2世の若い方も発言。東友会作成のスライド上映では、参加者は食い入るように説明を聴いていました。

青い地球を永遠に輝け 「合唱団この灯」演奏会

6月4日・午後1時にはティ合唱団長の挨拶には、「世アラこうとう前の広場には、近原からの参加をふくめ多くの聴衆が列をなして開演を待っていました。」

プログラムは、第1部「うたごえよ 世界をつなげ」、第2部はプロの音楽家集団「みんなであうたいましょう」、そして第3部が原爆や東京大空襲をテーマにした合唱構成「いのちをうたう」でした。

19年、いのちと平和の尊さを伝えてきた歴史を持つ70人の混声合唱団「この灯」による「飛木裕樹の唄けいちよ」では吉村勲二・ミエ夫婦の唄いた唄けいちよを背にして20人の子どもたちも寸劇に出演し、団員たちの創作曲をともに歌いあげていました。

2010年 国民平和大行進 夢の島出発式

5月6日、2010年原水爆禁止世界大会に向けて、夢の島の第五福竜丸展示会前での国民平和大行進(左写真)の出發式が行われました。東京から広島・長崎への通し行進者2名を先頭に、江東からの参加者を含めて600人が港区役所まで行進しました。

日本共産党街頭演説

お話は
参院議員
東京選挙区候補



小池あきら

◆6月5日(土) 14時

豊洲ビバホーム前

◆6月9日(水) 17時半

亀戸駅北口



行事案内

- 6月2日(水) 18時30分 「社会保障学校」 江東文化センター
- 6月3日(木) 18時30分 「憲法・安保」学習会 江東文化センター
- 6月6日(日) 10時から 住宅デー 東京土建江東支部
- 6月9日(水) 12時10分 「花咲デモ」東陽公園 大運動実行委員会
- 6月10日(木) 18時30分 「公契約条例を考えるシンポジウム」 ティアラ(こうとう)
- 6月11日(金) 公契約条例を考える連絡会
- 6月18日(金) 10時30分 墨東病院前で宣伝署名 「都立墨東病院を直営で存続させる会」
- 6月22日(火) 18時45分 「江東区民集会」 猿江公園 大運動実行委員会

吉川様

被爆者は「核戦争の生き証人」

4月29日総合区民センターで2010年度「江友会総会」が開かれ37人が参加。あの日からすでに65年、被爆による病と闘いながら「核兵器廃絶」「被爆者援護法」など制定と適用の拡大の運動を進めてきた同会の活動に心が熱くなる思いでした。

松本軍司会長・来賓挨拶、中島事務局長報告のあと、今年は、被爆2世と思われる若い方も参加し発言。東友会作成のスライドを上映、参加者は食い入るよう説明を聞きました。

写真は地区にあります。選んで下さい。